

Paul Nurse 博士 ('01 ノーベル生理学医学賞) 来日 !

10月28日(水) 17:15-18:00 東京大学安田講堂、入場登録不要。



Nurse博士は、細胞周期の基本メカニズムを解明し、サイクリン依存性キナーゼCDKの発見者として有名です。今回の来日を機に、分子細胞生物学研究所主催のシンポジウム「癌:基礎研究から分子標的治療へ」の最終演者として講演されます。本講演では、細胞周期の基本概念から博士自身の最新の研究成果を含む、細胞周期研究の真髓について、平易な語り口で話していただきます。多数のご来聴を歓迎いたします。

東京大学グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」の大学院講義の「新国際基盤生命学特論4」の単位取得を希望する方は、同シンポジウムのMichael Gottesman博士およびRobert Eisenman博士の講演も合わせて聴講するとともに、11月9, 10日に行われるRon Davis博士の集中講義を聴講して、規定のレポートを提出する必要があります。詳細はグローバルCOEのHP参照。